
令和元年度

舞鶴市社会福祉協議会事業報告

I 地域自治・地域コミュニティの再構築 「つながる活動」

1. 地域自治活動・地域福祉活動への支援

(1) 地域担当制の取組状況

地域包括支援センター単位の7地域に職員を配置し、地域福祉事業や会議等に積極的に参加することで地域の状況把握に努めました。

- ① 自治会長・民生児童委員合同会議等への参加 (2地域 3回)
- ② 地域包括支援センター圏域会議・ケア会議への参加 (7地域 9回)
- ③ 地域担当職員の地域福祉事業等への参加・協力 (7地域 45回)

(2) 地域まるごと支えあい助成金交付事業

サロン実施団体、老人クラブ、住民団体など9団体が実施する高齢者の居場所や外出の機会をつくるための事業に対して助成しました。

☆ 助成額 324,000円 (共同募金配分金)

2. 地域の福祉関係団体との協働事業等の実施

(1) 民生児童委員協議会との協働事業の展開

民生児童委員協議会と協働し、高齢者や障がい者、子育て世帯等を対象に地域の方々とのつながりを深め、孤立防止を目的に集いや友愛訪問活動等を実施しました。

・実施状況 14民児協 46事業 (別表P22～24参照)

☆ 助成額 1,028,911円 (共同募金配分金)

(2) 「第38回身体障害者・児と家族の集い」

南福祉協議会が主催する、地域で生活する障がい者(児)とその家族の交流会に協力しました。

・実施状況 8月25日(日) 南公民館 参加者 67名

(3) ホタルの夕べ・交歓会

東大浦地区旧原小学校区内の各団体で組織された実行委員会との共催で、地域住民と児童養護施設舞鶴双葉寮の児童との交流事業を実施しました。

・実施状況 6月8日(土) 河辺原公民館 参加者 72名

(4) 地域福祉活動の基盤強化事業(市町村社協連合会との補助事業)

特に男性の活動者が少ないという共通の課題解決を目的とし、地域支援事業を実施する京都生活協同組合及びまいづるファミリー・サポート・センターと協働し、「男性の地域活動参加」をテーマに交流会を開催しました。

・実施状況 2月21日(金) 中総合会館 参加者 28名

・内 容 ① 各地域支援事業についての紹介

② 市内で地域活動をされている男性の実践報告

③ 交流会

☆ 助成額 40,000円（法人運営事業）

3. 自治連・区長連協議会との連携

自治連・区長連協議会事務局として「自治会長・区長のつどい」の開催や会務に協力しました。

また、各自治会単位で社会福祉協議会会費や赤い羽根共同募金、歳末友愛運動募金に協力いただきました。

II 地域福祉の質の向上 「居場所づくり・仕組みづくり」

1. サロン活動支援

地域の中で支援が必要な方だけでなく地域に住んでおられる方誰もが参加できるサロンを応援し、孤立防止と地域のつながりを強めるためのサロン活動を支援しました。

(1) 地域ふれあいサロン活動助成

子育て世代等を対象としたサロンを実施している5団体（子育て対象サロン3団体、地域住民対象サロン2団体）に対し、会場費や運営費の助成をしました。

☆ 助成額 151,165円（ふれあいのまちづくり事業）

(2) 地域ふれあいサロン活動支援

1) 相談支援

サロンの立ち上げ相談支援を行いました。

- ・サロン八南（令和元年10月より開始）

対象者：八反田南町内の65歳以上の高齢者

実施状況：年6回

2) 研修の実施

① サロン活動者研修交流会

サロン同士の情報交換や交流を目的に研修交流会を行いました。

- ・実施状況 2月13日（木）参加者29名（15サロン）
- ・内容 レクリエーション機材の利用体験他

② サロン活動者視察研修

「第8回きょうと地域福祉活動実践交流会」に参加しました。

- ・実施状況 12月7日（土）京都府丹後文化会館・峰山地域公民館
参加者 29名

☆ 事業費 146,402円（ふれあいのまちづくり事業）

2. 広報・情報発信事業

(1) 広報紙「まいづるのふくし」の発行

- ・発行部数 年4回（延べ23,600部）発行
- ・配付先 自治会回覧や民生児童委員、関係機関に配付

☆ 事業費 659,674円（共同募金配分金）

(2) ホームページの活用

- ・実施状況 年間総アクセス数 5,481件（30年度 15,377件）

(3) フェイスブックの活用

フェイスブックを活用し、タイムリーな情報発信に努めました。

- ・掲載件数 38件 (30年度 10件)

3. 舞鶴災害ボランティアセンター事業

災害ボランティアセンターとして、関係する会議、研修へ参加したほか、令和元年台風19号支援活動を実施しました。

(1) 災害ボランティアセンター関係者会議

- ・開催回数 2回 (うち1回は令和元年台風19号対応会議)

(2) 研修会等への参加

- ① 京都府災害ボランティアセンター総会及び全体研修会 (6/8)
- ② 近畿ブロック社協災害支援研修 (7/30、31)
- ③ 京都府災害ボランティアセンタートップセミナー (11/26、1/23)
～災害時における危機管理「BCP(事業継続計画)」を通じたセンター機能強化を目指して～

(3) 広報活動

- ① 令和元年度 舞鶴総合防災訓練でチラシ配布・パネル展示
・実施状況 10月27日(日) 海上自衛隊舞鶴教育隊グラウンド

(4) 令和元年台風19号支援活動

- ① 活動内容 長野市災害支援ボランティアバスの運行
- ② 活動期間 11月1日(金)～3日(日祝) (実働2日間)
- ③ 活動実績 ボランティア数 22名、活動件数 延べ8件
- ④ 経費 775,091円

日本財団支援金 583,691円

センター負担/参加者負担金 191,400円

(5) 活動資材等の整備

共同募金寄付金助成事業を活用し、剣スコップ大10本、ドライワイパー10本、ボランティア参加者用名札シール1,000枚、のぼり旗20枚を購入

4. 地域ひとつなぎ事業(府社協助成事業)

高齢者、障害者、児童等への友愛訪問、電話による安否確認等の見守り活動を実施する地域の29団体へ活動費を助成しました。

☆ 助成額 712,500円 (法人運営事業)

1. 見守り・支えあい活動の啓発

地域の自治会単位で見守りや支えあい活動を行っていただけるよう、サロン等へ出向き地域での見守りや支えあいの意識を高めるための啓発を行いました。

- ・地域住民対象サロン 1件
- ・子育て世帯対象サロン 1件
- ・高齢者対象サロン 11件

2. 地域支えあいサポーター事業

(1) 地域支えあいサポーター養成講座

新たにサポーターを養成するため、「地域支えあいサポーター養成講座 みんなが安心して暮らせる地域を目指して」を開催し、新たに15名の登録がありました。

- ・実施状況 11月16日（土） 中総合会館 参加者 22名
- ・内 容 「つながり 見守り 支えあい ～お互いさまの支えあい～」
夢こらぼ 主宰 松尾 やよい 氏

☆ 事業費 108,267円（ふれあいのまちづくり事業）

(2) 地域支えあいサポーター研修交流会（再掲）

サポーターを対象とした視察研修として、「第8回きょうと地域福祉活動実践交流会」に参加しました。

- ・実施状況 12月7日（土）京都府丹後文化会館・峰山地域公民館
参加者29名

(3) 地域支えあいサポーター活動

見守りや支援が必要な在宅高齢者世帯を定期的に訪問し支援しました。

- ① 登録者数 72名（令和2年3月末現在）
- ② お話ボランティア 3世帯を7名が交代で訪問
- ③ ごみ出し支援 6世帯を各1名が支援

(4) ニュースレターの発行

地域支えあいサポーターに対し、活動事例や研修案内等をお知らせするニュースレターを年2回発行しました。

3. 福祉教育活動の実施と支援・協力

中学生・高校生を対象に夏休み期間に8つの福祉施設（高齢者施設6、障害者

施設 1、児童施設 1) で施設利用者と交流し、施設職員の仕事を学ぶことで福祉への理解を深め、福祉職への関心を高めることを目的に実施しました。

・参加者 中学生 8名、高校生 10名

☆ 事業費 39,200円 (ふれあいのまちづくり事業)

4. 福祉に対する理解を深める活動

(1) 第 37 回「障害者ふれあい行動デー」

12月3日(火)から9日(月)の障害者週間の啓発としての集会の実施やチラシ配布等に協力しました。

① 啓発集会

障害者施設利用者や障害者団体会員のステージ発表、京都府健康福祉部障害支援課の講演会を実施

・実施状況 12月3日(火) 中総合会館 参加者 135名

② 啓発活動

・街頭啓発 11月30日(土)

東地区(ショッピングセンターらぼーる前) 参加者 22名

西地区(バザールタウン舞鶴前) 参加者 26名

・横断幕による啓発等 11月25日(月)～12月10日(火)

実施場所：中舞鶴公園駐車場、白糸中学校、城南中学校、明倫小学校、倉梯小学校、志楽小学校

(2) 舞鶴市社会福祉大会

市内の社会福祉関係者の功績を表彰するとともに感謝の意を表し、福祉の増進を図るため、舞鶴市と共催で社会福祉大会を開催しました。

① 実施状況 2月1日(土) 中総合会館 参加者 140名

② 受賞者等の状況

・市長表彰(59個人、3団体)

・会長表彰(26個人、1団体)

・社協感謝(1個人、1団体)

☆ 事業費 129,382円 (共同募金配分金)

(3) 京都府社会福祉大会

市内の受賞者とともに大会に参加しました。

① 実施状況 9月4日(金) 京都テルサ 参加者 15名

② 受賞者の状況

・知事表彰(6個人、1団体)

・京都府社会福祉協議会長表彰(18個人)

・京都府共同募金会長表彰(表彰1個人、感謝10団体)

☆ 事業費 103,900円 (共同募金配分金)

IV ボランティア・市民活動の活性化

「ボランティアセンターの充実」

1. ボランティア・市民活動の芽を育てる事業

新たなボランティア活動者の増加を目的として開催しました。

① 実施状況 2月29日（土） 中総合会館 参加者 27名

② 内 容 「ボランティア体験教室」

センター登録団体の協力の下、要約筆記・アイマスクの体験

☆ 事業費 46,217 円（共同募金配分金）

2. ボランティアエンパワーメント事業

活動者の研修及びグループを超えた交流を目的として開催しました。

① 実施状況 11月14日（木） 中総合会館 参加者 26名

② 内 容 「不登校の子ども達の教育を通してみえてきた現代社会
～聖母の小さな学校開設30周年を経て～」

聖母の小さな学校 講師 梅澤 良子 氏

☆ 事業費 35,993 円（共同募金配分金）

3. ボランティア情報発信事業

(1) ボランティアセンターだより

センターの情報発信のため、年3回（延べ6,000部）発行しました。

☆ 事業費 121,778 円（ふれあいのまちづくり事業）

(2) まいづるボランティアだより

市民のボランティア活動への参加を促すことを目的に年1回（5,000部）発行しました。

☆ 事業費 100,310 円（ふれあいのまちづくり事業）

4. 舞鶴市ボランティアセンターの活動

(1) センター登録状況

① 個人 2名 (30年度 4名)

② 団体 65グループ (30年度 70グループ)

③ 登録者数 793名 (30年度 966名)

(2) ボランティア活動の支援

① 活動助成金の交付

・かがやくボランティア（市社協補助事業） 10グループ

☆ 助成額 241,551 円（ふれあいのまちづくり事業）

・ボランティアバンク（京都ボランティア補助事業） 2団体

☆ 助成額 140,000 円（法人運営事業）

② 活動機材等の提供

ボランティア活動や自治会等が実施する地域行事に使用する視聴覚機材やレクリエーション機材等を貸し出しました。

・プロジェクター	15件
・スクリーン	7件
・スピーカー	9件
・OHP	1件
・DVD・VHSデッキ	9件
・ヘッドホン	3件
・レクリエーション機材	45件

☆ 貸出料収入 26,500円（法人運営事業）

(3) センター運営委員会、各部会の開催状況

・運営委員会	6回
・部会	4回（交流部会 2回、研修部会 2回）

(4) 福祉施設に綿布を贈る活動

清拭用の布を集め、延べ17の入所施設に提供しました。

・集まった点数	2,871点（6月：1,478点、11月：1,393点）
・協力団体・個人	80名（6月：39名、11月：41名）

(5) 第30回ふれあいバザー

ボランティア同士の交流と活動資金の確保を目的にバザーを開催しました。

・実施状況	8月24日（土） 中総合会館 来場者数約300名
・協力物品	2,045点
・売上総額	310,410円

☆ 純利益 218,776円（ボランティア基金）

5. スポーツ・レクリエーション活動等への協力・支援

ボランティアセンター登録グループが、障がい者団体等の実施する事業運営に協力しました。

(1) 第34回「舞鶴市身体障害者交流運動会」

身体障害者団体連合会が主催する交流運動会の運営に81名が協力しました。

・実施状況	6月23日（日） 文化公園体育館 参加者 238名
-------	---------------------------

(2) 第38回「舞鶴市ふれあいレクリエーション」

14名が運営に協力しました。

・実施状況	11月7日（木） 東体育館 参加者 219名
-------	------------------------

1. 舞鶴市成年後見支援センター事業（舞鶴市委託事業）

開設3年目を迎え、成年後見制度に関する相談・利用支援、制度の普及・啓発等を行いました。

(1) 相談支援の状況

- ① 相談実件数 90件（30年度 83件）
 - ・認知症 73件、知的障がい 11件、精神障がい 2件、その他 4件
- ② 相談延件数 468件（30年度 330件）
 - ・新規 78件、再来 390件
 - ・来所 117件、電話 311件、アウトリーチ（訪問） 40件

(2) 相談会・会議等への参加

- ① 舞鶴市権利擁護相談への参加 11回
- ② 地域ケア会議への参加 2回
- ③ 専門職による相談会の実施 10回

(3) 広報・啓発活動

1) 成年後見セミナーの開催

- ・開催日 1月25日（土）
- ・内容 「成年後見制度」と「遺言・相続」
- ・講師 （公社）成年後見センター・リーガルサポート京都支部
司法書士 小川 雅史 氏
- ・参加者 86名（市民、福祉関係者他）

2) 研修会での制度説明等

- ① 京都府立大実習生受け入れ (9/9)
- ② 福祉サービス利用援助事業 生活支援員研修交流会 (9/12)
- ③ 朝来自治会 高齢者の共栄を考える会 (11/12)
- ④ ほっこりステーション 保護者学習会 (11/21)

(4) 運営委員会の開催

令和元年度運営委員会

- ・開催日 7月3日（水）
- ・参加者 11名（委員：5名、市：3名、社協：3名）
- ・内容 委員長等の選任、活動報告、令和元年度の事業計画等

2. 法人後見事業

地域における権利擁護支援体制の構築を目指し、組織での対応や継続的な支援が可能な法人後見の実施に向け、平成31年4月に要綱の作成・定款変更を行い受任体制を整備しました。

また、令和2年3月本会に対し後見人就任の希望があり、法人後見審査委員会の助言・審査等を経て、本会を候補者とする後見開始申立てが行われました。

(1) 法人後見審査会の開催

- ・開催日 令和2年3月23日(月)
- ・参加者 8名(委員:4名、社協:4名)
- ・内容 法人後見の受任の適否について

3. 福祉サービス利用援助事業(京都府社協委託事業)

在宅の認知症、精神・知的障がい等の判断能力が不十分な方の日常的な金銭管理等を支援しました。また、京都府社会福祉協議会、京都府福祉サービス適正化委員会合同の現地指導においては、指摘事項なしとの評価を受けました。

☆ 利用料収入 4,390,590円(福祉サービス利用援助事業)

(1) 契約件数(令和2年3月末現在)

・認知症	35件	(30年度	34件)
・知的障がい	34件	(30年度	31件)
・精神障がい	25件	(30年度	22件)
・その他	2件	(30年度	1件)
合計	96件	(30年度	88件)

(2) 事業実施状況

- ・新規契約件数 19件(30年度 23件)
- ・解約・終了件数 11件(30年度 11件)
- ・ケース会議参加数 53回(30年度 124回)
- ・相談・連絡調整件数 6,537件(30年度 6,351件)

(3) 生活支援員の登録状況

- ・生活支援員登録者数 36名(男5名、女31名)
- ・生活支援員雇用者数 28名(男3名、女26名)

4. 生活福祉資金等貸付事業

生活困窮者を対象に、京都府社会福祉協議会からの受託事業としての貸付並びに舞鶴市社会福祉協議会独自の貸付を行いました。

また、令和2年3月下旬からは新型コロナウイルス対応の特例緊急小口資金の貸付相談を開始しました。(貸付実績は、令和2年度扱い)

(1) 生活福祉資金貸付事業 (総貸付額 2,833,000 円)

資金の種類	元年度	30年度	29年度	28年度	27年度
総合支援資金	0件	0件	0件	0件	5件
教育支援資金	3件	11件	13件	19件	14件
福祉資金 ※	4件	4件	6件	5件	7件
緊急小口資金	5件	8件	9件	6件	9件
合計	12件	23件	28件	30件	35件

※ 相談受付後の取り下げ1件含む。

(2) 応急援護資金 (市社協独自 限度額 20,000 円)

	元年度	30年度	29年度	28年度	27年度
応急援護資金	86件	78件	81件	86件	113件
金額(千円)	1,620	1,501	1,481	1,670	2,188

(3) ふれあい福祉センター心配ごと相談

常設相談窓口を開設し市民からの様々な相談に対応しました。

・開設日数 244日

(相談件数 150件 うち新型コロナウイルスに係る特例貸付 36件)

5. 障がい者・高齢者ホームヘルパー事業

365日型で高齢者並びに障がい者への日常生活支援、身体介護のヘルパー派遣を行いました。

(1) 訪問介護事業

訪問介護・介護予防サービス (総合支援事業含む) 実績

年度	項目	※事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和元年度	※実利用者数	0	7	13	11	9	6	3	4	53
	延べ利用者数	0	87	160	130	123	68	45	66	679
	延べ訪問回数	0	504	1,108	1,727	1,499	1,880	1,243	2,308	10,269
平成30年度	※実利用者数	1	9	12	8	12	4	4	5	55
	延べ利用者数	1	94	146	129	110	50	31	73	634
	延べ訪問回数	5	505	1,082	1,101	1,275	1,774	657	2,561	8,960
平成29年度	※実利用者数		10	12	9	7	6	1	7	52
	延べ利用者数		102	134	112	102	68	32	67	617
	延べ訪問回数		541	988	1,064	1,135	2,741	677	1,977	9,123

※ 事業対象者……要支援の認定はないが、総合事業の利用対象となる方

※ 実利用者数は、令和2年3月31日現在

☆ 事業収入 34,252,822 円 (訪問介護事業)

(2) 障害者居宅介護事業

居宅介護サービス（障害）実績

年度	項目	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
令和 元 年度	※実利用者数	1	3	5	1	1	4	15
	延べ利用者数	15	36	52	20	12	54	189
	延べ訪問回数	51	294	501	204	377	1,015	2,442
平成 30 年度	※実利用者数	2	3	4	3	2	6	20
	延べ利用者数	24	39	62	32	21	71	249
	延べ訪問回数	86	486	703	397	486	1,695	3,853
平成 29 年度	※実利用者数	1	3	7	3	1	6	21
	延べ利用者数	36	60	103	48	24	74	345
	延べ訪問回数	89	497	1,059	452	344	2,030	4,471

※ 実利用者数は、令和2年3月31日現在

☆ 事業収入 12,169,900円（障害者居宅介護事業）

(3) その他

「社協ヘルパーだより」の発行（年4回、延べ480部）

- ・利用者、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、障害相談事業所に配付

6. 舞鶴こども発達支援施設「さくらんぼ園」

一人ひとりの個別支援計画に基づき、個々の発達状況に則した適切な支援内容により療育を行うとともに、保護者のニーズに基づく相談や支援に取り組みました。

また、並行通園先の幼稚園・保育所（園）・認定こども園や関係機関と連携し、子どもの理解や効果的な指導に努めました。

☆ 事業収入 40,378,337円（児童発達支援事業）

(1) 利用状況

① 児童発達支援事業利用実績

- ・療育（週1回通園 2時間を基本）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人員	75	75	75	78	78	78	78	88	89	89	88	88	
延べ回数	198	249	255	239	172	237	280	277	253	265	257	202	2,884
(30年度)	226	293	285	251	246	188	280	284	219	247	238	239	2,996

② 相談支援事業利用実績

- ・「児童支援利用計画」の作成、モニタリング

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人員	26	12	15	23	14	25	17	16	15	17	13	25	218
(30年度)	33	15	13	20	17	19	17	13	13	12	17	24	213

③ 保育所等訪問支援事業利用実績

・幼稚園・保育所(園)・認定こども園を訪問し、児童を観察と懇談をする。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人員	1	4	3	4	1	5	5	4	3	5	4	1	40
(30年度)	0	0	0	0	1	5.	4	2	4	7	5	4	32

(2) 取組内容

① 保護者相談

- ・個人懇談 延べ297件
(個別支援計画作成及び評価時、個別相談など)

② 関係機関との連携

- ・並行通園先幼稚園・保育所(園)・認定こども園(公開療育、訪問、見学受け入れなど)
- ・就学先学校(希望する保護者と入学予定の学校見学、就学前・後の連絡会など)

③ 保護者活動

- ・母親教室(延べ年間50回)
- ・保護者学習会(年間2回)
- ・先輩保護者との交流会(年間1回)

④ 舞鶴市「にじいろ個別支援システム」へ参画

⑤ 「さくらんぼ園だより」の発行(年間11回)

- ・保護者、並行通園先幼稚園・保育所(園)・認定こども園保育所、小学校、関係機関等へ配付

7. 大人用紙おむつ購入割引券発行事業

大人用紙おむつ使用者で割引券を希望される方に、民生児童委員を通じて、舞鶴薬業会加盟店で利用できる割引券を配付しました。

- ・利用者数 950名(令和2年3月末現在)
- ・利用枚数 15,468枚(200円/枚の割引)
- ☆ 事業費 3,165,020円(共同募金配分金)

8. 介護福祉機器、レクリエーション機材等貸出事業

介護を要する方や福祉教育活動に介護機器等の貸出しを行うとともに車椅子のまま乗車できる福祉車両の貸出しを行いました。

(1) 介護機器の貸出し

- ・車椅子 141件
- ・吸引器 7件
- ・杖 3件
- ・歩行器 1件

☆ 貸出料収入 26,700円(法人運営事業)

(2) 福祉車両の貸出し

・利用件数	92件
・走行距離	5,152km
☆ 事業費	433,384円 (共同募金配分金)

9. 福祉有償送迎サービス事業

公共交通機関の利用が困難な高齢者や障がいのある登録利用会員に対して、ボランティアの運転協力者が福祉車両により、低額な料金で送迎サービスを提供しました。

・運転協力者	8名	(30年度	8名)
・利用会員	17名	(30年度	15名)
・利用件数	延べ 365件	(30年度 延べ	413件)
・乗車距離	1,812 km	(30年度	1,966 km)
・総走行距離	5,018 km	(30年度	5,768 km)
☆ 事業費	621,839円	(福祉送迎サービス事業)	

1. 安定的な財源確保

市民に対し社会福祉協議会活動を理解いただき会費納入に協力いただくための広報活動を行うなど、自主財源の確保に努めました。

また、財政健全化と今後の経営安定化を図るため、経営検討会議を設置し、今後の経営の見直しの方向性について提案いただきました。

(1) 経営検討会議の設置

- ① 委員（6名） 税理士、社協理事・評議員・監事
- ② 会議（4回） 8/9、9/20、11/14、12/18
- ③ 検討内容
 - ・会費について
 - ・職員給与について
 - ・福祉有償送迎サービス事業について
- ④ 報告
 - ・理事会、評議員会で報告
 - ・社協ホームページ・広報誌に掲載

(2) 会費の納入 総額 8,434,050円（30年度 8,646,100円）

会費の種類	金額	件数等
一般会費（1世帯200円）	5,352,050円	27,034世帯
賛助会費（1,000円以上）	2,266,000円	1,997件
特別会費（3,000円以上）	513,000円	159件
団体会費（福祉関係団体等）	90,000円	6団体
施設会費（社会福祉施設）	213,000円	28施設

(3) 寄付の受入 822,392円（31件）

2. 法人運営の強化

法令を遵守し適正に法人運営を行いました。

- ・正副会長会 2回(30年度 2回)
- ・理事会 3回(30年度 2回)
- ・評議員会 2回(30年度 2回)
- ・評議員選任・解任委員会 2回(30年度 1回)

3. 人材育成及び研修体制の確立

前年度に引き続き、人材育成を目的に全職員を対象とした面談を実施するとともに職員の階層・職種に応じた研修を行いました。

「きょうと福祉人材育成認証制度」については、現地相談会を受け、3月末に認証申請を行いました。

4. 第3次地域福祉活動計画の策定

(1) 地域福祉活動計画策定懇話会

- ・理事全員を委員として、3回（8/2、11/28、2/28）開催

(2) 地域福祉活動計画の発行

- ・発行部数 1,000部
- ・配付先 民生児童委員、自治連・区長連協議会役員、福祉施設等
- ☆ 事業費 470,800円（法人運営事業、共同募金配分金）

5. 赤い羽根共同募金、歳末友愛運動募金の推進（舞鶴市共同募金委員会）

舞鶴市共同募金委員会事務局として、共同募金運動の推進に取り組みました。
また、福祉団体や障がい者団体等への助成は、ほぼ昨年と同様に行いました。

(1) 赤い羽根共同募金

① 募金額

	元年度	30年度	29年度
実績額	10,158,212円	9,928,204円	10,023,545円
目標額	10,033,000円	10,168,000円	10,570,000円
達成率	101.2%	97.6%	94.8%

② 助成額

各団体等への助成	社協への助成	合計
2,125,489円	4,853,189円	6,978,678円

（「団体等への助成一覧」参照 P25、26）

(2) 歳末友愛運動募金活動

① 募金額

	元年度	30年度	29年度
実績額	4,582,150円	4,691,092円	4,756,510円
目標額	4,682,000円	4,758,000円	5,100,000円
達成率	97.9%	98.6%	93.3%

② 助成額

各団体等への助成	社協への助成	合計
2,581,453円	1,198,300円	3,779,753円

（「団体等への助成一覧」参照 P26）

6. 関係機関・団体への協力

行政等の関係機関からの依頼にもとづき、関係会議に参加・協力し、連携を深めました。

- ・難病対策地域協議会（中丹東保健所）

- ・ 中丹圏域障害者自立支援協議会（中丹東保健所）
- ・ 舞鶴市長寿社会プラン推進会議（高齢者支援課）
- ・ 舞鶴市認知症医療連携実務担当者会議（高齢者支援課）
- ・ 地域包括支援センター運営協議会（高齢者支援課）
- ・ 舞鶴市介護認定審査会（高齢者支援課）
- ・ 舞鶴市障害者施策推進協議会（障害福祉・国民年金課）
- ・ 舞鶴市身体障害者福祉センター運営委員会（障害福祉・国民年金課）
- ・ 舞鶴市子ども・若者支援会議（子ども支援課）
- ・ 舞鶴市要保護児童対策地域協議会（子ども支援課）
- ・ 舞鶴市民生委員推薦会（福祉企画課）
- ・ 舞鶴市自殺対策計画策定懇話会（福祉援護課）
- ・ 舞鶴市暴力追放推進協議会（市民課）
- ・ 舞鶴市都市計画審議会（都市計画課）
- ・ 舞鶴市みらい戦略推進会議（企画政策課）
- ・ 舞鶴市公共交通ネットワーク会議（企画政策課）
- ・ 舞鶴犯罪被害者支援連絡協議会（舞鶴警察署）
- ・ 認知症疾患医療連携協議会（舞鶴医療センター）